

口頭発表 3/16(Sat) 9:15-10:45 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room A	E Room B	E Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Animal community	Biodiversity	Conservation	植物生活史	景観	外来種	生態系管理	進化
9:15	A01-01 Importance of habitat complexity for benthic assemblages on bedrock stream 斎藤 裕美 (東海大学)	B01-01 Impact of agricultural management and landscape on dung beetle communities in Hokkaido, Japan: balancing farming with conservation 越後 葉月 (北海道大学)	C01-01 都市の微小な物理環境の違いはコケの分布に影響を与えるか？：札幌におけるケース 菅原 風紗 (北海道大学大学院)	D01-01 コムギ畑でつかまえて－畑地雑草の種特性はホスト作物に捕られる－ 池上 真木彦 (国立環境研究所)	E01-01 Iso-loggingによるカツオ (<i>Katsuwonus pelamis</i>) の回遊履歴復元 松林 順 (松林 順)	F01-01 外来社会性昆虫の国内侵入状況と防除システム構築の最前線 坂本 洋典 (国立環境研究所)	G01-01 世界の農業生産が森林の絶滅危惧種に与える影響とその対応策 篠田 悠心 (国立環境研究所)	H01-01 イトヨにおける多機能性遺伝子の進化とその生態的効果 ストリスノ アルディ (東京大学)
9:30	A01-02 Use of environmental DNA for revealing abundance-occupancy patterns in riverine fish assemblages 宮園 誠二 (山口大学)	B01-02 CAN TROPICAL AGRICULTURAL LANDSCAPES SUPPORT FOREST BIRD BIODIVERSITY?: IMPLICATION FOR LAND SHARING AND SPARING STRATEGY IN SOUTHEAST ASIA Ku noor khalidah Binti KU HALIM (Hiroshima University)	C01-02 維管束植物3,180種を対象とした生息地点数の増減にもとづく絶滅リスク評価 夫婦石 千尋 (九州大学)	D01-02 石見銀山石銀集落跡におけるハチク開花の経過 鈴木 重雄 (駒澤大学)	E01-02 哺乳類が利用する林道とは？：管理強度によって異なる環境要因の影響 鈴木 美緒 (山形大学大学院)	F01-02 誘引餌不要のアライグマ捕獲用巣箱型ワナの効果検証 田中 一典 (北海道大学大学院)	G01-02 アンデスアマゾン地域の山地林における森林劣化評価 宮本 和樹 (森林総合研究所)	H01-02 短期的進化の予測可能性検証：ワシントン湖におけるイトヨ鱗板数急速進化の事例 山崎 曜 (国立遺伝学研究所)
9:45	A01-03 Functional roles of sound production in seven cichlid species of Lake Tanganyika 井上 諒一 (Osaka Metropolitan Univ.)	B01-03 A comparative analysis of biodiversity between organically and conventionally managed agricultural soils. MD ARIFUL Haque md ariful Haque (Grad, University of Toyama)	C01-03 公共緑地における自然体験教育プログラムの実施強度は何で決まるのか 玉利 瑞欣 (東京大学)	D01-03 地すべり後に生じたアマモ場の追跡調査：潮間帯オオアマモの由来と推移を探る 伊藤(阿部) 美菜子 (国立科学博物館,北海道大学)	E01-03 市街地の鳥類は種によって異なるスケールで景観を選好する 増田 侑太朗 (東京都立大学)	F01-03 日本のヘビ類に寄生する外来吸虫の生活史と移入経路 脇 司 (東邦大学)	G01-03 丸石河原の消長と水位変動 河原植物の生育可能地の予測に向けて 野谷 靖浩 (横浜国立大学)	H01-03 インドネシア・ポン湖のメダカ属魚類における同所的種分化のゲノム基盤 柿岡 諒 (琉球大学)
10:00	A01-04 佐渡島におけるヘビ類の時間的、空間的、食餌的ニッチ分割 澤田 聖人 (筑波大学)	B01-04 Does species aggregation distribution pattern mitigate the extinction debts of Orchid species in urban ecosystems? 孫 熙 (Yokohama National Univ.)	C01-04 Exposure vs Experience: influence of contact with nature on pro-nature attitudes and behaviour 青田 雄太郎 (東京大学)	D01-04 ノニルフェノールがキュウリの性比に与える影響 安田 彩人 (近大・農)	E01-04 木本植物の機能的多様性からみた都市近郊林の管理方法への提案 東 優樹 (筑波大学)	F01-04 環境DNAハプロタイピングに基づくブラックバス3種の分布拡大経路推定 脇村 圭 (大阪大谷大学)	G01-04 海水浴場における砂丘復元前後の生物群集の変化 植野 晴子 (北海道大学)	H01-04 二次的接触した湖沼性のメダカ属3種における集団動態履歴およびゲノム分化パターン 婁岩 美月 (琉球大学)
10:15	A01-05 Acoustic Monitoring of Bat Species Diversity in Ashiu Forest, Kyoto Fay TAYLOR (Kyoto University)	B01-05 キイロシヨウジヨウバエにおいて遺伝的異質性が集団行動に及ぼす非相加的な影響 奥山 登啓 (千葉大・院・融)	C01-05 State of Taiwan's Birds and Conservation Strategies Da-li LIN (Taiwan Biodiversity RI.)	D01-05 マテバシイにおける花粉管伸長・胚珠発達フェノロジーから紐解く受精遅延の進化 社川 武徳 (九州大学)	E01-05 時系列衛星画像を用いた台風による森林風倒後の植生回復過程の評価 阿部 聖哉 (電力中央研究所)	F01-05 野尻湖でのブルーギル産卵行動と今後の外来魚マネージメント課題 ピーターソン マイルズ (筑波大学)	G01-05 海草と大型海藻の基盤種の分布と利用・保全・管理：気候変動下における課題 阿部 博哉 (国立環境研究所)	H01-05 二次的接触前の分布拡大は雑種強勢を促進する 山口 諒 (北海道大学)
10:30								

口頭発表 3/16(Sat) 10:45-12:00 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room A	E Room B	E Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Animal community	Biodiversity	Conservation	植物生理生態	景観	外来種	生態系管理	進化
10:45	A01-06 Sika deer and wild boar alter their diurnal and seasonal activity pattern in residential area. Nasratullah ELHAM (Hiroshima University)	B01-06 When islands are organisms: bird's nest ferns (<i>Asplenium nidus</i>) as a novel system for studying microbial community assembly Yu-pei TSENG (National Taiwan University)	C01-06 日本の飼育環境によるジャイアントパンダの腸内マイクロバイオームの変化 王 雪瑩 (北海道大学)	D01-06 都市緑地における樹木3種の微量元素吸収能力 永井 祥生 (東京都立大学)	E01-06 ソーシャルセンシングによる桜開花フェノロジー 堤田 成政 (埼玉大学)	F01-06 ため池におけるコイの駆除が水生昆虫群集に与える影響 渡邊 黎也 (兵庫県立大学大学院)	G01-06 感染症対策、水産資源管理、野生動物管理、総合的害虫管理における個体群管理の比較 松田 裕之 (横浜国立大学)	H01-06 2つのパッチを移住する1宿主－2共生者系の動態：非同調による多様性維持 嶋田 正和 (産総研・深津 ERATO)
					動物個体群			
11:00	A01-07 房総半島における草食動物3種の密度の劇的な変化：状態空間RESTモデルによる推定 神田 有香音 (日本大学生物資源)	B01-07 Boosting biodiversity monitoring using smartphone-driven, rapidly accumulating community-sourced data 渥美 圭佑 (株式会社バイオーム)	C01-07 Tracing temporal spread of non-native freshwater shrimp for invasion risk prediction by machine learning 大貫 溪介 (京大院理)	D01-07 鉱さいたい積場のヨシの重金属耐性と重金属蓄積に関する内生糸状菌の化学的機能 大熊 美結 (筑波大学)	E01-07 "mimics without models"の数理的検証 冨塚 暖史 (東京都立大学)	F01-07 四国における外来鳥類種サンジャクの広域分布予測と在来種への影響評価 松田 洋仁 (高知大学)	数理	H01-07
							G01-07 抗ウイルス薬投与停止後の感染症リバウンド 林 玲奈 (九州大学)	Mutualism dissolution by pathogen invasion 入谷 亮介 (理研・iTHEMS)
11:15	A01-08 亜熱帯湿地林における着生植物上のアリの群集構造 中辻 宏平 (東京農工大学)	B01-08 Insect community assembly across vertical forest strata: using artifical tree holl as a model 井坂 友一 (西双版纳热带植物园)	C01-08 Improving large-scale evaluation model of ecosystem services in tropical production forests using satellite and drone aerial images 小松 孝太朗 (京都大学・森林生態)	D01-08 鉱山跡地に自生するミゾソバの重金属耐性機構及び内生細菌の機能の解明 谷内 美月 (筑波大学・生命環境)	E01-08 ゲノムワイドSNP解析によるトゲサング隠蔽種間の雑種検出と地点間遺伝分化の評価 中島 祐一 (国立環境研究所)	F01-08 小笠原における外来陸生ヒモムシの生態系影響 岸本 年郎 (ふじのくに環境史ミ)	G01-08 エキノкокスの感染動態シミュレーションにおける群集構造、行動学と宿主操作の相関 森 健介 (京大生態研センター)	H01-08 Exploration of sex chromosome, and karyotype analysis in the Japanese dry-wood termite, <i>Neotermes sugioi</i> 村上 貴弘 (九州大学)
						行動		
11:30	A01-09 温帯アリ群集における機能形質の垂直位置による違い 井上 哉太 (東京農工大学)	B01-09 Low accuracy in group-level coefficient estimates in separate fittings of GLMMs 片渚 正紀 (XTBG, CAS)	C01-09 マラウイ湖国立公園のミオソボ林における薪資源としての枯れ木生産量の推定 林 珠乃 (龍谷大学)	D01-09 鉱山跡地の移植実験において根の内生菌がススキの生長および重金属耐性に及ぼす影響 盧 星燕 (筑波大学・生命環境)	E01-09 湧水選好動物の遺伝構造における水系への依存性：移動能力の異なる3種での比較 平野 佑奈 (国立環境研究所)	F01-09 東京の都市近郊緑地のタヌキは都心のタヌキの活動時間とどの様な違いが見られるのか 藤田 翔伍 (東京農工大学)	G01-09 宿主に対する産卵と捕食のタイミングの分化がもたらす捕食寄生者2種の共存 一色 竜一郎 (京都大学)	H01-09 繁殖縄張り行動発現の収斂進化における多様な内分泌遺伝基盤 山崎 遥 (九州大学)
11:45	A01-10 An equation-free Bayesian method for the inference of state-dependent ecological interactions with time series data 行平 大樹 (東北大学)		C01-10 From space to water surface: the potential of remote sensing methods for coral reef monitoring Nurrahman ANDRIANTO (AMBL, Kyushu University)	D01-10 鉱山集積場において、内生菌が関与したススキのストレス耐性機構の解明 松代 雄太 (筑波大学・生命環境)	E01-10 Using Bioacoustic Monitoring for Spatial Tracking of Silver Croaker (<i>Pennahia argentata</i>) during courtship 太田 圭祐 (東北大学)	F01-10 哺乳類による都市緑地と近郊林の利用に関する研究 山本 紘輝 (京都大学)	G01-10 寄主植物特異性は植食性昆虫の高い多様性を説明できるか？ 難波 利幸 (大阪公立大学)	H01-10 夜間人工光に対するショウジョウバエのエピ遺伝的応答と都市適応 竹中 夏海 (千葉大・院・融)

口頭発表 3/16(Sat) 15:15-16:30 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room A	E Room B	Room C (公募セッション)	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Material cycling	Animal-plant interaction	生態学と人間の文化	植物生理生態	動物個体群	行動	数理	進化
15:15	A02-01 Contribution of complexity and stability of fungal community to multifunctionality in the Arctic Xinyu XU (The Univ. of Tokyo)	B02-01 訪花性のカザリショウジョウバエは繁殖と採餌という異なる目的に応じて花を使い分ける 桂 宗広 (名古屋大学)	C02-01 鶺鴒のウミウの生態学：馴化過程と飼育下の生活史、個体間関係 亀田 佳代子 (滋賀県立琵琶湖博物館)	D02-01 鉱山跡地に自生するアオキの根面微生物と内生菌の機能 土山 紘平 (産業技術総合研究所,筑波大学・生命環境)	E02-01 キタナキウサギの分布変化：再訪調査の結果と種分布モデルによる予測の比較 崎山 智樹 (北海道大学)	F02-01 北海道噴火湾におけるカマイルカの出現と分布予測 黒崎 菜摘 (東海大学)	G02-01 樹木による揮発性有機化合物(BVOC)産生の季節性：最適防御スケジュールとして 巖佐 庸 (九州大学)	H02-01 ktch: モデルベース形態測定学向けPythonパッケージ 野下 浩司 (九州大学)
15:30	A02-02 Trait-based community assembly in early successional tropical wet forests in Ghana 松尾 智成 (Wageningen University)	B02-02 The role of epidermal papillate cells on the calyx tube in the pollination of the genus <i>Aristolochia</i> 李 俊男 (京都大学・生態研)	C02-02 奈良のシカの糞性状と腸内細菌叢が、感染症拡大による観光客数変動から受ける影響 明石 涼 (北海道大学)	D02-02 鉱山跡地に自生するススキによるアカマツ実生の定着促進機構の解明 春間 俊克 (森林総合研究所)	E02-02 傷病鳥獣救護データを用いたタヌキの個体群動態の推定 松山 亮太 (酪農学園大学)	F02-02 安静時におけるオオミズナギドリの酸素消費速度と心拍数の関係 長谷川 隼也 (東京大学)	G02-02 BVOCを介した植物個体内・個体間コミュニケーションの進化条件 廣瀬 草太郎 (九州大学)	H02-02 種内の相加遺伝分散・分散の変化を伴う装飾形質のオス二型の進化 森田 慶一 (総合研究大学院大学)
15:45	A02-03 Soil microbial resource-uses and enzyme activities along a gradient of forest degradation in logged-over tropical rain forests, Borneo 姜 琳子 (京都大学)	B02-03 Nocturnal pollination services by moths on buckwheat, a neglected function of common insects 永野 裕大 (東大・農)	C02-03 アグロエコロジーを取り入れた国際条約の考察 小張 真理子 (筑波大学)	D02-03 クローナル植物のイタドリで見られた糸状菌の一種は、種子を介し親子間で感染するか？ 中野 美希 (東京都立大学)	E02-03 捕獲によってニホンジカ個体群の成長を阻止できる密度水準はどの程度か？ 上野 真由美 (北海道立総合研究機構)	F02-03 遊泳中のウミガメにおける受動能動抗力比の実験的推定 黒田 健太 (大気海洋研究所)	G02-03 血縁や互恵性を伴わない協力の進化 江副 日出夫 (大阪公立大学)	H02-03 樹木と魚類の成長にともなう個体呼吸シフトの統一性 森 茂太 (山形大学)
16:00	A02-04 Microbial communities associated with nitrogen transformation in canopy soils on large cedars in Yakushima, Japan 末吉 功季 (神戸大学)	B02-04 Ecological significance of intraspecific variation in flowering phenology of a spring ephemeral herb, <i>Corydalis ambigua</i> Hai xiang LIEW (Hokkaido University)	C02-04 自然史博物館の常設展示におけるサイエンティフィック・イラストレーションの応用傾向 裘 夢雲 (日本大学 芸術研)	D02-04 植物観察へのデジタルデバイスの導入 宮沢 良行 (九州大学)	E02-04 個体群の予測を最適化するアグリゲーション法の開発と検討 岩下 源 (東北大学)	F02-04 マイクロチップを用いた陸上生活期におけるホクリクサンショウウオの行動追跡 中村 真帆 ((株)国土開発センター)	G02-04 占有パッチの状態変化を考慮したメタ個体群モデル 佐藤 一憲 (静岡大学)	H02-04 生物地理学的レガシーは鳥類の渡り経路の種差を説明する 青木 大輔 (森林総研,北海道大学,長野アカモズ保全研)
16:15								

口頭発表 3/16(Sat) 16:30-17:45 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room A	E Room B	Room C (公募セッション)	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Material cycling	Animal-plant interaction	生態学と人間の文化	植物生理生態	動物群集	行動	数理	保全
16:30	A02-05 Effects of surface land use and meteorological conditions on the bioaerosol phase at the air-land interface Rohit BANGAY (Kanazawa University)	B02-05 Discovery of a novel mutualism between <i>Macrostemon</i> and <i>Nipponorhynchus</i> 山口 万里花 (東京都立大学)	C02-05 生態学と社会コミュニケーション—文学、アート、教育とのかかわり 多田 満 (国立環境研究所) E Ecology and human culture	D02-05 様々な針葉樹葉の分光放射吸収特性の違いが温暖化応答に及ぼす可能性 久米 篤 (九州大学)	E02-05 自然生態系における Critical Transirionを伴うレジームシフトの実証 深澤 陸 (東北大学)	F02-05 捕食リスクの有無によりユビナガホンヤドカリの殻闘争行動に違いが生じる？ 古賀 庸憲 (和歌山大学)	G02-05 微生物コミュニティ発展における熱力学的洞察: 安定性とエネルギー利用 瀬戸 繭美 (奈良女子大学)	H02-05 人為騒音下におけるコロギのメスの生息地選択 中岡 佳祐 (北大院・環境科学)
16:45	A02-06 Relationships of above-ground biomass with climate and species composition across Japanese natural forests: which types of forests stock more carbon? 梶野 浩史 (東北大学)	B02-06 The aggregation of herbivorous insects as a response to chemical landscapes formed through plant community structure 大崎 晴菜 (東京都立大学,学振PD)	C02-06 Ecological anthropological study on the impact of water pollution on the mangrove forests and local communities in the coastal areas of Mumbai, India 関間 花梨 (京都大学大学院)	D02-06 NO ₃ :NH ₄ バランスが野外藻類群集の光生理に与える影響 風間 健宏 (神戸大学)	E02-06 多雪地域における中型食肉目の種間関係の季節変化：人工餌場を用いた行動による評価 高崎 日向子 (山形大学)	F02-06 捕食者の色覚を模倣したCNNによるチョウ類擬態形質の定量化 網野 海 (東京大学)	G02-06 リターの分解速度が平衡状態におよぼす影響はリターの流出入パターンに依存する 山内 淳 (京都大学)	H02-06 ガムシ(<i>Hydrophilus acuminatus</i>)は水生昆虫のホットスポットの指標種か？ 山中 基成 (筑波大学)
17:00	A02-07 石灰岩土壌は貧栄養なのか、富栄養なのか：樹木の栄養塩利用と根圏効果の観点から 芝 里万杜 (京大・農・森林生態)	B02-07 Does remnant forest in urban landscape shape the evolution of white clover? 石黒 智基 (北海道大学環境科学院)	C02-07 Beyond bees: a cross-country investigation into public perceptions of insect-mediated crop-pollination services 伊達 政里 (東京大学)	D02-07 カエデ属における冬季の日長受容様式の多様性 大野 美涼 (岩手大学)	E02-07 九州の落葉広葉樹林における有刺ハチ群集の季節変動 上森 教慈 (九州大学)	F02-07 社会性ハダニにおける捕食者卵を転がす行動～行動の詳細からその目的を探る 田原 真夢 (筑波大学)	G02-07 交互作用項を持つ一般化線形モデル (GLM) の係数の意味：間隔尺度の説明変数 粕谷 英一 (大阪公立大学)	H02-07 愛媛県のため池における絶滅危惧種マツカサガイ個体群の生息 畑 啓生 (愛媛大学 院 理工)
17:15	A02-08 Development of vegetation structural complexity in an enrichment oil palm plantation (Sumatra, Indonesia) 菊地 達郎 (ゲッティンゲン大学)	B02-08 Synergistic effects of predation and parasitism on competition between edible and inedible phytoplankton 笠田 実 (東北大学)	C02-08 How should primate bushmeat hunting be managed?: A case study in Southeastern Cameroonian rainforest region 赤岡 佑治 (京都大学 (ASAFAS))	D02-08 伐採方法の異なる76年生落葉広葉樹林における伐採後2年間の萌芽枝の発消長 三木 直子 (岡山大学)	E02-08 近年枯死したナラ枯れ木に対する大型土壤動物の応答 村上 悠士 (近畿大・農)	F02-08 ジャイアントミルワームでの長時間の闘争は敗者の適応度を減少させる 松浦 輝尚 (岡山大学)	G02-08 生態学と科学哲学：法則性に関する論考 島谷 健一郎 (統計数理研究所)	H02-08 長期的な生息地変化と生物多様性トレンドの統合：日本の沿岸性水鳥の事例 清水 孟彦 (北海道大学)
17:30	A02-09 ササ掻き起こし施業による有機物分解特性の50年間の変化：天然更新と単一種植栽の比較 竹内 理絵 (横浜国立大学)	B02-09 寄生植物アメリカネナシカズラは一年生草本の共存を促進するか 篠原 直登 (京都大学)	C02-09 Policy diffusion in global biodiversity conservation: Learning, competition, coercion, and emulation amidst US-China great-power politics Hubert CHEUNG (Sapienza University of Rome, The University of Tokyo, Northern Arizona University)		E02-09 海浜性甲虫群集の形成機構～五島列島における海浜間の類似度の決定要因～ 上野 弘人 (九大院・地社)	F02-09 流水面におけるハマスズの遊泳行動 久我 立 (広島市森林公園昆虫館)		H02-09 夜間に移動する渡り鳥の地上照明から受ける影響について 長田 幸子 (北海道大学)

口頭発表 3/17(Sun) 9:00-10:15 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room A	E Room B	Room C（公募セッション）	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Plant ecophysiology	Evolution	社会性・認知生態学	植物個体群	動物生活史	動物と植物の相互関係	菌類・微生物	保全
9:00	A03-01 How do the stomata of nine canopy tree species in the Borneo rainforest respond to changes in atmospheric drought? 辻 祥子 (京都大学)	B03-01 Patterns of fern community assembly throughout the American continent: Do the mechanisms of species diversification also vary with latitude? Jose Said GUTIERREZ-ORTEGA (RIKEN iTHEMS)	C03-01 ショウジョウバエが立体構造を手がかりに花の中心を認識するしくみ 石川 由希 (名古屋大学)	D03-01 北方針広混交林における落葉広葉樹と針葉樹の成長量変化と年輪安定同位体比の関係 鈴木 智之 (東京大学)	E03-01 両生類の変態モデルを用いた生活史別死亡率と成長速度の推定 岩井 紀子 (東京農工大学)	F03-01 エゾシカによる種子散布-散布種子相・消化管通過・散布距離- 綱本 良啓 (道総研)	G03-01 細胞運動マシナリーを介した単細胞性シアノバクテリアと糸状性細菌の種間相互作用 河野 恵美 (東京都立大学)	H03-01 陸上風力発電と猛禽類の行動の関係性に関する考察 森原 百合 (日本工営(株))
9:15	A03-02 Community phytochemistry of mangrove forests at their northern range margins David ARMITAGE (OIST)	B03-02 群集動態が駆動する実現ニッチ幅の多様性の進化 京極 大助 (兵庫県博)	C03-02 シンプルな視覚ランドマークに対する文脈依存的なアリの行動選択 納富 祐典 (東京大学)	D03-02 ブナ開芽日の年変動に見られる集団間変異：晩霜日の標高・地形間変異に対する局所適応 石田 清 (弘前大学)	E03-02 伊豆諸島におけるカラスバトの島間移動パターン 安藤 温子 (国立環境研究所)	F03-02 模型を用いた陸上性鳥類(キジ・コジュケイ)による付着種子散布の可能性の検証 佐藤 華音 (東京農工大学)	G03-02 日本列島の森林の土壤微生物群集を規定する非生物物的・生物的要因 兵藤 不二夫 (岡山大学)	H03-02 島国の鳥類ゲノム：イヌワシとヤンバルクイナのも多様性 佐藤 悠 (京大・野生動物,エディンバラ大学)
9:30	A03-03 Ecoevolutionary implications of interspecific hybridization in tree adaptation 樽澤 優芽子 (京都大学)	B03-03 Parent-offspring conflict and sex chromosomes Thomas HITCHCOCK (iTHEMS, RIKEN)	C03-03 なぜ私たちは自然が好き/嫌いなのか？進化心理×環境心理の可能性 深野 祐也 (千葉大学)	D03-03 親ラメットが経験した土壌資源の垂直分布は、子ラメットの根の空間分布にも影響するか 大村 拓平 (東京都立大学)	E03-03 昼か夜か？鳥類の渡る時間帯に影響する形態的・生態的要因 堀 隼輔 (北海道大学)	F03-03 ノブドウの熟した果実は何色？果実形質と鳥類による果実選択に基づいた評価 北村 俊平 (石川県立大学)	G03-03 オーストラリアの内陸河川であるマランビジー川における総一次生産と生態系呼吸の推定 小林 剛 (NSW州 計画・環境省,チャールズスタート大)	H03-03 つくば市における草原性鳥類の分布と都市化が与える影響 並木 大斗 (筑波大学)
9:45	A03-04 Branching architecture affects genetic diversity within an individual tree 富本 創 (九州大学)	B03-04 Mitonuclear coevolution in a heteroplasmic Sulawesi medaka fish Handung NURYADI (TBRC, Ryukyus Univ.)	C03-04 Comparative study of termites movement: do workers and soldiers shows different pattern? 佐藤 耀弥 (Tokyo Metropolitan Univ.)	D03-04 個体の流れ行列を用いた生命表反応解析：オオバナノエンレイソウを事例として 横溝 裕行 (国立環境研究所)	E03-04 斜面崩壊後の倒木処理が中型哺乳類の生息地選択に与える影響 広部 康太 (北海道大学)	F03-04 ウキクサミズゾウムシの食性嗜好に基づくウキクサの選択性 高橋 伽乃 (県立広島大学)	G03-04 気候変動と土地利用を考慮したシロアリによるメタン放出のグローバルな推定 伊藤 昭彦 (東京大学)	H03-04 交通騒音が鳥類の分布に及ぼす影響は生息地の植生によって変化するのか？ 鈴木 龍晟 (筑波大学)
10:00	A03-05 How Gap Structures Mediate the Phenological Responses of Tree Seedlings to Decreased Snow in Boreal Forest? 蔡 一涵 (北海道大学)	B03-05 Landscape of cis-regulatory divergence between generalist and specialist anemonefish species 吉田 陽香 (九州大学)	C03-05 協力ゲームにおける関係離脱戦略の進化 小楠 なつき (理化学研究所)	D03-05 エゾエンゴサク（ケシ科）における多様な葉形態の種内変異に関する研究 吉田 理見 (弘前大学)	E03-05 ヒグマ水晶体の安定同位体比分析による食性の時系列復元の可能性 三浦 一輝 (北海道立総合研究機構)	F03-05 奈良公園内のイラクサの刺毛長に及ぼすニホンジカとアカタテハの幼虫の影響 加藤 禎孝 (奈良教育大学)	G03-05 オイルパーム農園における二酸化炭素フラックスは何によって制御されるのか？ 羽田 泰彬 (東京大学)	H03-05 伊豆諸島におけるコウモリ類の音声調査・解析 野寄 歩 (筑波大学)
10:15								

口頭発表 3/17(Sun) 10:30-11:45 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/71/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room A	E Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Plant ecophysiology	Evolution	生物多様性	植物個体群	動物生活史	動物と植物の相互関係	物質循環	保全
10:30	A03-06 季節と栽培方法が与える 温州ミカンの外中果皮に おけるフラボノイド含有 量への影響 濱田 桜子 (国際基督教大 学)	B03-06 Genomic landscape underlying transcriptome and epigenome adaptation in marine and freshwater sticklebacks Liang LIU (東京大学)	C03-06 都市近郊林における人工 ギャップ形成後10年間 の植物多様性変化 島田 和則 (森林総研多摩 科学園)	D03-06 ホタルブクロの花色多型 を規定する要因 張 瑞琪 (新潟大・佐渡自 共セ) 群落	E03-06 コイ科の追星を食べる: マラウイシクリッド <i>Docimodus evelynae</i> で見つかった新奇な習性 竹内 勇一 (北海道大学)	F03-06 花を集めれば遠くまで目 立つ?:花密度に伴うハ チの検出限界の変化 穴澤 颯太 (筑波大学大学 院)	G03-06 山地小流域における微地 形に応じた土壌メタンフ ラックスの変動 渡辺 陽樹 (京都大学)	H03-06 魚類の毒性影響を評価す る手法としての環境 RNAの可能性 日置 恭史郎 (国立環境研 究所)
10:45	A03-07 Dynamic changes in photosynthesis, fluorescence, and spectral reflectance of three poplar species under varying light intensity 張 景淇 (東北大学)	B03-07 Genetic basis of interspecific variation in salinity tolerance of Sulawesi medaka fishes Ilham Vemandra UTAMA (TBRC, Univ. Ryukyus,MZB, PRBE, BRIN)	C03-07 放牧による植物群集の変 化を介した地表徘徊節足 動物群集への影響の乾燥 度依存性 西村 一晟 (横浜国立大 学)	D03-07 空間先取り説とは何か? タケの生活史を理解する 山田 俊弘 (広島大学)	E03-07 寄生性甲殻類フサフクロ ムシのキブリス幼生の雌 雄における比較トランス クリプトーム 梶本 麻未 (奈良女子大 学)	F03-07 植物揮発性物質と先住効 果は多種ヤナギ上に集ま る節足動物の初期群集集 合に影響する。 米谷 衣代 (近畿大学)	G03-07 ヒノキ林における土壌面 蒸発量の変動および蒸発 散量への寄与 神谷 有咲 (京都大学)	H03-07 安定同位体比分析と個体 の移動から判明した奄美 大島のイエネコの動態 伊澤 あさひ (東京大学)
11:00	A03-08 Seasonal variations in plant-perceived critical wavelength ratios: plant ecophysiological perspective Amila Nuwan SIRIWARDANA (Kyushu University)	B03-08 The effects of climate change on the life history evolution of a long-lived, mycorrhizal orchid Eric Stephan HOLTON (University of Tokyo)	C03-08 琉球列島の林床棲ハエト リゴモ類の種相比較と地 理的遺伝構造 荒木 葵 (東京都立大学)	D03-08 林冠画像と毎木調査、年 輪から探るブナ林の ギャップ動態 坂詰 七美 (山形大学)	動物繁殖 E03-08 東北沖イラコアナゴに寄 生するホラアナゴノエの 性転換について 森本 紗世 (北海道大学)	F03-08 ゴーヤの花の真菌群集組 成：雄花と雌花の比較 中村 祥子 (森林総研)	G03-08 北海道東部の河畔林にお ける下層植生刈払いが土 壌に与える影響 佐々木 章晴 (北海道大 学)	H03-08 多面的な個体群行列解析 による化学物質に対して 脆弱な生活史過程の解明 都築 洋一 (国立環境研究 所)
11:15	A03-09 What is the most suitable deep learning- based software for analyzing fine root dynamics? 山形 拓人 (兵庫県立大学)	B03-09 Andromonoecy as a convergent resolution to intra-locus sexual conflict in bisexual flowers Kai-hsiu CHEN (University of \	C03-09 東北地方のツキノワグマ 及びイノシシからの南方 系マダニ類の確認 小峰 浩隆 (山形大学)	D03-09 気候変動下で北海道の天 然林はどう変わる? 動的 植生モデルによる予測 佐藤 永 (海洋研究開発機 構,東京大学大学院)	E03-09 ダンゴイカ類における成 熟サイズの季節変化と精 子競争の関係 戸田 達也 (東京大学)		G03-09 針葉樹人工林の階層にお ける節足動物食物網の栄 養構造：安定同位体比分 析 齋藤 敦 (東京農工大学)	H03-09 靴から考える海洋マイク ロプラスチックごみ問題 真辺 爽風 (国際基督教大 学)
11:30		B03-10 Maximizing food acquisition in socially parasitic rove beetles through aggregating around termite queens 中園 大博 (京都大学)	C03-10 発育環境がキイロショウ ジョウバエの翅干渉色パ ターンに与える影響 高橋 一男 (神奈川大学)		E03-10 サバクトビバッタはどう やって互いの卵を傷つけ ずに集団産卵するのか? 前野 浩太郎 (国際農研)		G03-10 「みどりの食料システム 戦略」は肥料資源的に可 能か? 三島 慎一郎 ((国開)農研 機構)	H03-10 地球環境問題を形成する 複数スケール・複数課題 の同時解決のための新た な概念モデル 石井 励一郎 (総合地球環 境学研究所)